

## 保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人こじか福祉会
施設名	天久ひばり保育園
報告者（役職）	新垣 直子（園長）
住所・連絡先	沖縄県那覇市天久 2-25-16
	☎ 098-869-4455
	E-mail amekuhibari@gmail.com

### ○タイトル（保育計画）

とびだせ元気！！「こころもからだも大きくな～れ」

### ○主な助成備品

システムブロックアップダウンセット・巧技台セット・平均台・マット  
楽器（大太鼓・小太鼓・スズ・トライアングル・カスタネット・タンバリン・パーラン  
クー等）

## 1. 保育計画策定の目的

本園は平成 29 年 6 月に開園致しました。

日々、子どもたちは泣いたり笑ったり怒ったり喜んだり等の感情体験を重ね、そして遊びや生活の中で様々な経験を友だちや保育者、身近な大人と親しみ関わりをもつことで、安心した自分の居場所として園での生活を当たり前としています。

その中で、子どもたち一人ひとりを健やかに育むための活気ある保育環境（物的、人的）が不可欠だと認識し、自分の身体を十分動かし、自分から動かすことを楽しんだり、身近にある楽器に親しみ表現する喜びや楽しさが生まれるような保育環境を整えていきたいと考えました。

## 2. 具体的な実施内容

### ○システムブロックアップダウンセット

- ・手足を使って上り下りを繰り返すことで全身の力を使う
- ・上り下りの運動やアップダウンの傾斜を楽しむ
- ・バランス感覚が養われる

### ○はしご 鉄棒 平均台

- ・手指や腕、手足の強化、握る
- ・考えて体を移動させ、全身のバランス感覚を養う

#### ○マット

- ・ 転がる（前転・後転・横まわり）での回転感覚を養う
- ・ 限られた空間（家に見立て）で友だちとふれ合ったり、寝ころんだり、会話を楽しんだりする

#### ○巧技台 とび箱

- ・ 腕や体を支える感覚を身につける
- ・ 跳躍や瞬発力を高めたり、高低感覚やタイミングをつかめる能力を養う
- ・ 自由にルールを作り、遊びとして楽しめる
- ・ 対面、四角形、十字型等の形にバー、はしご、ビーム等をセットして、少し高い位置に配置することでバランス機能を養う遊びができる

#### ○楽器（大太鼓・小太鼓・スズ・トライアングル・カスタネット・タンバリン・パーランカー等）

- ・ 様々な楽器に親しむ（様々な音色体験する）
- ・ 年齢に合わせて遊びや活動に楽器を取り入れる
- ・ 楽器の名称を教える
- ・ 楽器に触れる機会を多く持つ
- ・ 楽器のあつかい方がわかったところで、同じリズム打ちをしたり、歌やピアノにあわせて合奏したり等を進めていく
- ・ 3歳 4歳児はみんなで合奏する経験をしていく中で「楽しい！！」を体験、実感する
- ・ 楽器の始末の仕方がわかるようになる
- ・ 子どもたちは楽器遊びを通して心が通い合う喜びを感じ、更にもっと自分の思いを表現したいという気持ちをもつようになる

#### ◇パーランカーについて

- ・ 年齢を問わずエイサーの曲に合わせて体をゆらしパーランカーを楽しんでいる
  - ・ 1歳児は手作りのパーランカーで音を出し楽しんでいる
  - ・ 異年齢で心を合わせ音を楽しむ姿はチャンプルー保育（異年齢交流）特有の喜びや楽しさの共有につながっている
- ※チャンプルー（沖縄の方言＝交ぜあわせる）

### 3. その成果と評価

#### ○システムブロックアップダウンセット（主に0、1歳児）

- ・ 個人差（月齢差）はあるものの伸び伸びと身体を動かし、はう、歩く等の運動をしようとするこの時期に最適な物的環境となる
- ・ 手足を使い階段や斜面を降りる時、保育者の援助で方向転換をし、降りられるようになる

- ・経験するにつれて保育者の手を振り払ったり、自分でやりたい気持ちが高まり、自らできることを目標に楽しむ姿が多く見られた
- ・やわらかい素材の階段や斜面を立てて上り下りすることで両足を上手に使いこなし（片足 片足をしっかり踏みしめて歩く）、安全によじ登る、滑る、乗り越える等、身体全体でバランスをとるようになった
- ・様々な形を組み合わせて配置することで発達に沿った設置環境を整え、歩行のさらなる確立に繋げていった
- ・遊びの空間として、友だちと寝そべったり触れ合って笑いあったり等、「心の動き」の体験の場にもなっていた



#### ○ 鉄棒 平均台 (1歳～4歳)

- ・低年齢児用のバランス平均台（ソフトタイプ）や高さを変化させての平均台等で保育者の手につかまり安心して一歩一歩歩くことから始める  
保育者が体幹の軸を支えることで少しずつ手を放し、横歩き、足を交互に出して歩く両手を広げて歩く等と段階を経て経験することでバランス感覚を身につけていった
- ・鉄棒ではぶら下がることで筋力やバランス感覚を身につけていったが、全体的に十分な活用ができなかった年齢に合わせて、取り組む内容を十分に考慮して実践の深まりを考えていきたい



#### ○マット (全園児)

- ・はう等の移動時にマットを使用することですべることなく、足指でしっかりとけて前に進むことができた
- ・マットの幅から落ちないように、転がる方向に目標をもち身体を回転する感覚で全身運動、バランス感覚運動としても取り組んでいった  
遊びの場としてお家に見立て、限られたスペース（マット）で体を寄せ合って触れ合ったり、会話を楽しんだりする空間にもなった



### ○はしご とび箱 巧技台セット (1歳児以上)

- ・はしごに親しみ慣れることから始める (はしごを低い高さで直置きにし、枠の間をまたいで歩く等)
- ・巧技台と組み合わせることで、徐々に高低差を出したり斜めに設置し上りやすさを考えたりして、取り組む段階を追って取り付け方を工夫していくことで、自分なりに上手にできたことで恐怖心よりも興味が上まわり、積極的に活動に参加できるようになった
- ・巧技台やとび箱の高さを調整し、手指、足指や全身を使ってよじ登る事を子ども自身で考え、工夫等も見られ、自信や満足につながり意欲的に取り組む様子が見られるようになった
- ・3、4歳児は巧技台やとび箱の上からマットに目的をもって両足を屈伸させ安心してジャンプへと発展することができた
- ・子どもたちの自由な発想を取り入れ、様々な巧技台の使い方を安心して楽しむことが増えてきた



### ○楽器 (全園児)

心まちにしていた楽器が届いた日

- ・3、4歳児に「贈っていただいた大切な楽器」というお話をしました。又、保育者の指導もあり、楽器を丁寧に扱うことも少しずつ身につけている様子が伺えます。
- ・楽器遊びや活動の内容は年齢によって変化はありますが、楽器の個性に親しんだり、好きな楽器と一生懸命向き合うことで諸感覚の経験を豊かにし、様々な感覚を体験し味わうことに繋がっているよう思えます。
- ・0、1歳児は初めて聞く音に瞳を輝かせ心を動かす様子を見せ、2歳児は小さな自信をもって楽器遊びを楽しんでいます
- ・生活発表会で3、4歳児は合同で合奏を発表し、お互いをほめあって喜び、満足感、達成感を共有していました。



パーランクーに親しみ楽しむことは、家族、地域との交流が深まり身近な人々と関わりをもとうとすることで人間関係が十分育まれるのではと考えます。

そして、沖縄の行事（旧盆、他）に更なる興味関心をもち、ふるさとを愛する心が育まれるのだと思います。

何よりも音楽は “楽しい” を子どもたち一人ひとりが実感している今日現在です。



#### 4. 今後の課題と展望

運動用具、楽器が保育に活かされる様になって一年が経過しました。

当初は目の前の大きな贈り物に目をみはったり、喜び、戸惑ったり、緊張したり、子どもたちの一人ひとりの表現は違えども幸せいっぱいの際に私たち職員もその喜びを共有し、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

本事業のご支援により物的環境が充実してきました。

現在は日々の遊びや活動、行事の中で子どもたちは運動用具、楽器に親しみを持ち、心も身体も動かし伸び伸びと園生活を送っています。

今後は

○保育者がプログラムする年齢に合わせた具体的な心と身体の発達につながる遊びや活動の内容の工夫

○子ども自身の興味、関心で作りに出す環境

（「なぜ?」「どうして?」等の考える、気付くチャンスになりえる様）

チャンプルー保育（異年齢保育）に取り入れる環境構成等を、人的環境の下、物的環境を整備していきます。

自園の保育目標である「生きる力を育む」

（・心の育ち・たくましい身体作り・豊かな感性と考える力・自立に向けて）に向けて、子どもと遊び、子どもから学ぶ保育者像の下、子どもたちを健やかに育てていきます。

又、地域に根ざした保育園作りに努めていきます。

以上